



1月

社会福祉法人尚徳福社会
保育園与那原ベアーズ2

園だより

園長 黒多 信陽



あけましておめでとうございます。昨年は保育園の運営にご理解とご協力を賜りありがとうございました。本年も子どもたちが保育園大好き！と言ってくれ、保護者の皆様が安心してお仕事等ができる保育園でありたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【1月の予定】

1/1(月)元旦
1/2(火)休園
1/3(水)休園
1/4(木)保育始め
1/6(月)成人の日(休園)
1/15(月)～
1/19(金)保育参加ウィーク
1/未定 避難訓練(火災)



【園長のひとりごと】

今月は、与那原ベアーズⅡの保育の特徴でもある、「主体性の尊重」について尚徳福社会の考え方をお話したいと思います。

子どもたちが自分で見つけ、考え、展開していくためには、様々な物的環境の充実が必要だと考えています。ままごと遊びしか出来ない様な玩具を置くのでは無く、創造性や豊かな発想が生まれるような玩具を置くと共に子どもの世界の中に必要以上に大人が入り込まない等の配慮を行っています。また、子ども主体の保育を行う事で、子どもや保育士のストレスの軽減も図られていると考えます。

【お知らせ】

【ちくちくことば・ふわふわことば】

皆さんは、ふわふわ言葉とちくちく言葉と話を聞いたことがあるでしょうか。子どもたちは、乳幼児期に様々な言葉を獲得します。6歳ころまでに獲得する語彙数はおおよそ3000語以上といわれています。大人の会話の他にYouTubeやテレビなどから様々な言葉を獲得しています。その中にはいい言葉ばかりではありません。友達を傷つけてしまう言葉も含まれると思います。幼児クラスになると「〇〇君に▲▲って言われた」と訴えてくる子どもの姿も見られます。そこで、5歳児クラスの子もたちと「ふわふわことば」「ちくちくことば」を集めてみました。それぞれ20個以上探すことが出来、その後、ちくちく言葉を聞くと「ちくちくことばだよ」と友達同士で声を掛け合う姿が見られるようになりました。そこで、ちくちくことばをふわふわ言葉に変える提案をした所、子どもたちは色々考える様になってきました。これから保育園の中にあたたかい言葉が飛び交うといいなと期待しています。

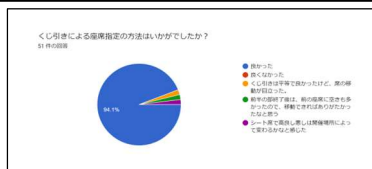
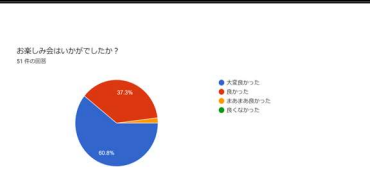
【社会福祉法人尚徳福社会 主体性・創造性を育む】

(主体的な活動を促すために)

- 自分で遊びをみつける楽しさや、遊びこめる力を育てる。
- 子どもの遊びを保障するために、遊びこんでいる子どもの姿を肯定的に捉え、必要以上の介入をしない。
- 子どもが自発的・意欲的に関われるような環境を構成し、子どもの主体的な活動や子ども相互の関りを大切にします。

(創造性を育むために)

- 触覚、視覚、聴覚、臭覚を刺激し感性を育てる道具を準備し、好奇心や探究心を育てる。
- 見ただけ遊びからごっこ遊び、なりきり遊びへと、年齢、発達に合った設定を行い、遊びが展開するように環境を整える。
- 構成遊びは創造性や豊かな発想を生み出す。構成遊びが広がる様に、保育者が一緒に遊んで、遊び方を知らせたりして、展開のきっかけ作りになるような関わり方をします。



【お楽しみ会アンケートご協力ありがとうございました】

お楽しみ会アンケートへのご協力ありがとうございました。

楽しかったと言うお声を沢山嬉しく思っております。ご意見の中に客席での私語が多かったとお声を多く頂きましたので、行事など多くの方が集まる場では皆様快適に観覧等して頂けるよう定期的なアナウンス等を行ってまいります。また、乳児クラスの途中退席後の座席移動のルール徹底や子どもの顔が見にくかった、DVD販売があると良かった等のご意見も頂きました。できる範囲で改善をしていきたいと考えております。

